



2023年5月31日

各位

会社名 株式会社ゼネテック
(コード番号：4492 東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 上野 憲二
問合せ先 上席執行役員経営企画部長 岡田 剛
(TEL 03-6258-5612)

上場維持基準への適合に向けた計画書

当社は、2023年3月時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日時点(基準日時点)におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合していません。当社は、流通株式時価総額に関して2026年3月末日までに上場維持基準に適合するために、次のとおり各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	966人	15,747単位	8.2億円	40.5%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画書に記載の項目			○	
計画期間			2026年3月末	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針

流通株式時価総額は「時価総額」と「流通株式比率」によって構成されていますが、「流通株式比率」については基準を充たしていることから、「時価総額」の向上が必要であると認識しております。当社は、流通株式時価総額基準の充足を目指し、2023年5月31日に発表した中期経営計画に基づく業績の向上による企業価値(時価総額)の拡大を図ることを基本方針とします。それとともに、株主還元およびIRの充実等の施策を講じることで流通株式時価総額を高めてまいります。

3. 上場維持基準に適合していない項目の課題と取組内容

(1) 課題

流通株式時価総額の基準値である10.0億円を、基準日である2023年3月31日時点の流通株式数1,574,700株で除した場合の理論上の必要な算定平均株価は636円（小数点以下、端数切上げ）ですが、流通株式時価総額の算定に使用された株価は523円（小数点以下、端数切下げ）でしたので、113円（21.6%）以上の株価上昇が必要となります。なお、2023年4月3日から5月31日までの平均株価は742円（小数点以下、端数切下げ）であり、当該期間では上場維持基準に適合しておりますが、流通株式時価総額の基準となる株価のさらなる上昇とその維持のため、以下の取組をまいります。

(2) 取組内容

① 中期経営計画の遂行・実現

当社の中期経営計画を最終年度の2025年度（2026年3月期）に向けて着実に遂行します。中期経営計画に沿って基本戦略を実行することを通じて、業容の拡大を図り経営目標の達成を目指してまいります。

中期経営計画（抜粋）

(1) 計画期間

2023年度（2024年3月期）～2025年度（2026年3月期）

(2) 基本戦略

「ソリューションパートナーとしての真価の発揮」に向け、以下3つの事業成長戦略、2つの経営基盤戦略を実行してまいります。

事業成長戦略

i. システムソリューション事業：事業領域のシフトおよび拡大

付加価値向上策としては、システム開発の上流工程および製造・販売型へのシフトによる高単価化、ならびにERP領域での事業拡大に向けた子会社株式会社パートとの協業推進に取り組みます。また、拡販策としては、自動車分野でのシステム開発技術の横展開による売上拡大を図ります。

ii. エンジニアリングソリューション事業：ものづくり領域でのDXソリューション強化

付加価値向上策としては、「物流2024年問題」で社会的ニーズが強く高付加価値なFlexSim（3次元シミュレーションソフト）および同じく高付加価値なPLM事業の推進、また自社技術を用いた新規ソリューション開発等によるラインナップの拡充・高付加価値化を図ります。さらに、拡販策としては、販売チャネルの拡大に取り組めます。

iii. GPS事業：プラットフォーム上のサービス拡充

付加価値向上策としては、構築中の位置情報プラットフォームを活用したサービスラインナップの拡充による収益力の強化を、また、拡販策として海外市場への展開を図ります。

経営基盤戦略

i. 人材：戦略的事業推進の核となる人材の拡充・高度化

高付加価値な事業への人材シフト、領域拡大・付加価値向上に向けた人事制度の見直し、規模拡大に向けた採用強化、高い成果発揮に向けた教育制度の拡充に取り組めます。

- ii. M&A・アライアンス：ビジョン実現に向けた機動的・積極的な実施
ものづくりをワンストップで支援する体制構築に向けたM&Aや社会的問題解決に資するアライアンスについて、機動的・積極的に実施してまいります。

(3) 経営目標

	2025年度計画
売上高	118億円
営業利益	23億円
営業利益率	20.0%

※努力目標：営業利益率20%以上を早期に達成する

(ご参考) 株式会社ゼネテック IRページ 中計経営計画
<https://www.genetec.co.jp/ir/>

② 株主還元策の強化

当社は、株主への利益還元を経営上の最重要課題のひとつを考え、事業環境や財政状況、経営成績を考慮のうえ、内部留保と配当のバランスを考えた利益配分を行うことを基本的な考え方としております。配当性向につきましては、これまで目標とする数値を明示しておりませんでした。上場維持基準への適合に向けた取組として、2023年5月15日付「剰余金の配当および配当方針の変更に関するお知らせ」で公表のとおり、2023年度から2025年度までを目安として当面の間、連結配当性向を50%程度に引き上げることを決定いたしました。また、中間配当の実施についても、併せて決定いたしました。

③ IRの強化

これまで新型コロナウイルスの感染拡大のため、IR活動を必要最小限の情報開示に留めておりました。そのため投資家の皆様に当社の事業内容、業績、将来計画等の情報を充分にお届けできていない状況であると認識しております。今後は、より多くの投資家の皆様に当社の情報をお伝えするため、今まで以上にIR活動を強化してまいります。

具体的には、以下の取組を中心に情報発信をより一層推進してまいります。

- ・決算説明資料（四半期毎）の開示
- ・決算説明会（年2回）の動画配信
- ・第三者レポート
- ・自社HP等でのIR/PR情報発信の強化

以上